

## 【ロシア】クリミア等を編入した日を記念日に制定する法改正

海外立法情報課 徳永 俊介

\* 2018年8月3日に「ロシアの軍事的栄光の日及び記念日に関する連邦法」が改正され、ロシア帝国時代の1783年にクリミア等を編入した4月19日が新たな記念日となった。

### 1 法改正の背景と概要

2018年8月3日連邦法第336号「ロシアの軍事的栄光の日及び記念日に関する連邦法第1条1の改正について」が成立し、1783年にロシア帝国がクリミア、タマン、クバンを編入した4月19日が法律に基づくロシアの記念日となった。

クリミアに存在したクリム・ハン国は、18世紀までオスマン帝国を宗主国としていたが、オスマン帝国とロシア帝国の度重なる戦争の過程で、1783年に周辺地域のタマン、クバンと共にロシア帝国に編入された。その後、1917年のロシア革命を経て、ロシアとウクライナが共にソ連の構成共和国であった1954年に、地理的及び経済的にウクライナと結び付きが強いという理由<sup>1</sup>、クリミアはロシア共和国からウクライナ共和国に移管された。1991年にウクライナがソ連から独立した後、2014年にロシアがクリミアを実質的に編入し、今日に至っている。

法案は、マトヴィエンコ下院議長とクリミア共和国及びセヴァストポリ連邦市選出の複数の議員により下院に提出された。法案の説明書の中で、この法改正は2014年のクリミア編入に係る住民投票の合法性の歴史的裏付けになるとの主張がなされていた<sup>2</sup>。法律に署名する際に、プーチン大統領は、ロシア帝国時代のクリミア編入はクリミアの住民及び戦争の被害者の請願に基づき行われたと述べた<sup>3</sup>。今回の法改正は2018年8月3日の公布と同時に施行された。

### 2 ロシアにおける記念日の区分

ロシアにおける記念日は、①祝祭日、②記念日及び職業の日、③ロシアの軍事的栄光の日及び記念日、の3種類に区分される<sup>4</sup>。そして、それぞれが異なる根拠法令を有する（表参照）。

これら3種類の記念日のうち、①祝祭日のみが休日である。②記念日及び職業の日は、根拠法令において、記念日は国家等に対して歴史上重要な意味を持つ出来事を記念する日、職業の日は経済活動における国民の専門分野を記念する日と規定されている。③ロシアの軍事的栄光の日及び記念日は、根拠法令において、ロシア史における特別な出来事の豊富さを強調した上で、軍事的栄光の日をロシア史において決定的な役割を演じた日、記念日をロシア史における国家及び社会に対して歴史的に重要である日であると規定されている。

\* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2018年10月12日である。

<sup>1</sup> Veljko Mikelic, "Housing, Land and Property in Crimea," UN-Habitat, 2007.12, p.10. <<https://unhabitat.org/books/housing-land-and-property-in-crimea/>>

<sup>2</sup> "День принятия Крыма в состав Российской Империи стал новой памятной датой," 2018.7.24. <<http://duma.gov.ru/news/27704/>>

<sup>3</sup> "Президент РФ подписал принятые ранее Государственной Думой законы," 2018.8.4. <<http://duma.gov.ru/news/27840/>>

<sup>4</sup> 複数の区分に重複する場合もある。たとえば、戦勝記念日（5月9日）は「祝祭日」と「ロシアの軍事的栄光の日及び記念日」の双方に指定されている。なお、ロシアにおける記念日は膨大な数に及び、特に記念日及び職業の日の運用は曖昧な点も多い。

表 ロシアにおける記念日の区分

記念日の名称	根拠法令及び具体例
祝祭日	2001年12月30日連邦法第197条「労働法典」第112条 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年始休暇（1月1日から6日及び8日）の7日間</li> <li>・旧暦のクリスマス（1月7日）</li> <li>・国際女性デー（3月8日）</li> <li>・戦勝記念日（5月9日。1945年、第二次世界大戦においてソ連がドイツに勝利した日）</li> <li>・民族統一の日（11月4日。1612年、義勇軍がポーランド軍からモスクワを解放した日）</li> </ul> などの計14日。
記念日及び職業の日	2013年7月31日大統領令「ロシア連邦における記念日及び職業の日の制定手順について」に基づき、具体的な日付は別途大統領令等で規定 記念日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗の日（8月22日。1991年、現在のロシア国旗が初めて掲げられた日）</li> <li>・母の日（11月の最終日曜日） など</li> </ul> 職業の日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者の日（6月の第三日曜日）</li> <li>・漁師の日（7月の第二日曜日）</li> <li>・教師の日（10月5日） など</li> </ul>
ロシアの軍事的栄光の日及び記念日	1995年3月13日連邦法第32号「ロシアの軍事的栄光の日及び記念日について」 ロシアの軍事的栄光の日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・祖国防衛者の日（2月23日。ソ連時代における赤軍の創設記念日。祝祭日としても定められている）</li> <li>・ボロジノの戦いの日（9月8日。1812年、クトゥーゾフ指揮下のロシア軍とナポレオン指揮下のフランス軍が交戦した日） など</li> </ul> 記念日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙飛行士の日（4月12日。1961年、ガガーリンが人類初の宇宙飛行を達成した日）</li> <li>・第二次世界大戦終結の日（9月2日。1945年、第二次世界大戦において日本が降伏文書に署名した日）</li> <li>・革命記念日（11月7日。1917年、ロシア革命において社会主義政権が樹立された日）</li> <li>・憲法記念日（12月12日。1993年、現行憲法採択の国民投票が行われた日）</li> </ul> など

(注1) 祝祭日の根拠法令については、以下を参照。Кодекс Российской Федерации от 30.12.2001 № 197-ФЗ ТРУДОВОЙ КОДЕКС РОССИЙСКОЙ ФЕДЕРАЦИИ. <<http://pravo.gov.ru/proxy/ips/?docbody=&nd=102074279>>

(注2) 記念日及び職業の日の根拠法令に関しては、以下を参照。Указ Президента Российской Федерации от 31.07.2013 № 659 О порядке установления в Российской Федерации памятных дней и профессиональных праздников. <<http://pravo.gov.ru/proxy/ips/?docbody=&nd=102167153>> また、職業の日の制定については、2013年11月13日ロシア政府決議第1016号「職業の日の制定について」Постановление Правительства Российской Федерации от 13.11.2013 № 1016 Об установлении профессиональных праздников. <<http://pravo.gov.ru/proxy/ips/?docbody=&nd=102169007>> にも規定がある。

(注3) ロシアの軍事的栄光の日及び記念日の根拠法令については、以下を参照。Федеральный закон от 13.03.1995 № 32-ФЗ О днях воинской славы и памятных датах России. <<http://pravo.gov.ru/proxy/ips/?docbody=&nd=102034625>>

(注4) 革命記念日は祝祭日であったが、1996年に合意と和解の日と名称が変更された後、2005年に廃止された。また、憲法記念日も祝祭日であったが、同年に廃止された。詳細は2004年12月29日連邦法第201号「労働法典第112条の改正に関する法律」Федеральный закон от 29.12.2004 № 201-ФЗ О внесении изменений в статью 112 Трудового кодекса Российской Федерации. <<http://pravo.gov.ru/proxy/ips/?docbody=&nd=102090445>> を参照。

(出典) 上記法令を基に筆者作成。